

放課後等デイサービス

みかたっこ



発達症の子供たちの

みらいの
かのうせいを
たかめる ために

LDの子供たちに きちんと療育を！

ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字・英単語などの

読みが苦手な LD の子どもさんは、

左脳よりも右脳が強みという認知特性があります。

みかたっこでは、右脳に働きかける学びや、

ICT 機器を使った学び方の個別療育を大切にしています。



オリジナル教材
「発音絵記号」を
用いた文字の読み
指導は、
「みかたっこ」独自の
個別療育

- 個別療育**
 - ・ LD の特性へのアプローチ
 - ・ ICT 機器の活用の仕方
 - ・ 集中カトレーニング
 - ・ クッキング お絵描き
- 集団療育**
 - ・ ボードゲーム カードゲーム
 - ・ 外での集団遊び お出かけ
- イベント**
 - ・ ふれあい祭り（年 2 ～ 3 回）
 - ・ 保護者の勉強会やおしゃべり会

計算や
九九教材も
得意な右脳に
働きかけるよう、
工夫して

6 + 6



放課後等デイサービス 利用案内

対象年齢：小学1年生から高校3年生まで
対象障害：発達症（主にLD）、軽度の知的障害
対人不安症など

※行政から支給される受給者証が必要です。）

利用可能時間 … 9:00～18:00

※学校がお休みの日は午前か午後の半日利用

※学校が長期休業中は、一日のご利用も可能

送迎 片道20分程度の距離を目安に（要相談）

休業日：金 曜（定休）

お盆（8/12～15） 年末年始（12/29～1/3）

利用可能地域：雲南市、安来市、松江市、出雲市
奥出雲町、飯南町

※遠方の子供さんたちにもご利用いただけるよう、
保護者さんの送迎がしやすい **土日、祝日も開所**して
います。

不登校の子どもさんの受け入れ

対 象：小学1年生から高校3年生までの
発達症や対人不安、HSC などによって学校
に通い辛くなっている児童・生徒さん

※行政から支給される受給者証が必要です。

利用日・時間

学校通常時 月～木曜日……9:30～15:00

※子どもさんの状態に合わせて利用時間を相談

内容例

子どもさんの状態に合わせて、
居場所となる活動（好きな活動、おでかけ）や
学習のリハビリ、体づくりになる活動等

利用可能地域：雲南市、安来市、松江市、
出雲市、奥出雲町、飯南町

大切にしていること！

土台となる 体づくり

★おやつには、不足しがちなミネラルや
発酵食品を取り入れ、反対に合成添加
物を除去するように心がけて腸活を！

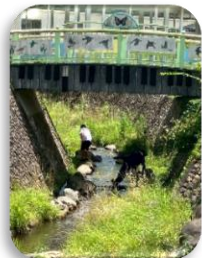
★子供たちがやらなくなった外での
集団遊びや自然の中での遊びを大切に
し、粗大運動を通して体の調整力や
状況判断力を！

★お手玉でのジャグリングや
テニスボール積みを通して、
集中力や指先の巧緻性
を！

子供さんの 興味関心の幅を 広げる

とかく興味の幅が狭くなりか
ちな発達症の子供たちです。
あえて、いろいろな体験が
できるイベントや活動の場に
参加することをお誘いします。

どこにその子の才能を
開くスイッチがあるか
わかりませんから、



その子に合う学び方を

GIGA スクール構想で子供たちが一人一台
タブレットやノートパソコンを使えるようになって、
子供たちのパソコン入力スキルは、とてついできました。
学校の課題にもいろいろなオンライン学習ソフトが
導入されたり、作文や感想文などもネット上で提出できたり
学校教育の場も目を見はる変化が起きています。

でも、LD の子どもたちの宿題を見せて貰うと、
まだまだ鉛筆で書くことを求められるものが多いです。
子供たちは、やっつけ仕事のように宿題をやっています。
勉強はイヤだという気持ちがぬぐいきれません。

「みかたっこ」では、
書くことの負担を減らし、子供たちが理解や記憶に脳の
エネルギーを注げるよう、できるだけ右脳に働きかける
カード教材を工夫し、スモールステップでの繰り返しを
大切にしたい個別療育プログラムを工夫しています。

「みかたっこ」で自分に合う学び方に出会って、
学びのリハビリ（トレーニング）をし、
未来の可能性を高める！

そのお手伝いができますように！



管理者・見発管 佐佐木 瑠美子
（臨床発達心理士・特別支援教育士）
（KABC-II アセスメント検査者資格）

事業主体：非営利型一般社団法人 みかた麴社

住 所：雲南市大東町飯田 112 番地 17

連絡先：090-9353-7226（みかたっこ）

090-7504-5686（代表 佐佐木）

mikatacco@gmail.com



@MIKATAK02023

